



Vol.  
302

2016 MEIJI YASUDA J1 League  
1st Stage 11th Sec  
2016.05.08 SUN

VS 川崎フロンターレ



LAWSONエキサイトマッチ



チカラを  
ひとつに。  
- TEAM AS ONE -



# 勝利の鍵はハードワーク 日立台に凱歌を響かせよう!

J1通算の対戦成績が1勝3敗1分と、レイソルにとって“鬼門”の1つだった山梨中銀スタジアムで、前節は終始安定した試合運びを見せてヴァンフォーレ甲府を2-0で下した。4月同様連戦が続く5月の戦いに向け、幸先の良いスタートを切った。

そして今節、レイソルが迎え撃つのは2位の川崎フロンターレだ。フロンターレとは、今季すでにヤマザキナビスコカップのグループステージ第4節で対戦し、アディショナルタイムの武富孝

介の劇的決勝弾で勝利(○2-1)を収めている。フロンターレが主力選手を温存した前回対戦でもポゼッションやパスワークに苦しめられたことを考えると、フルメンバーが予想される今回の対戦は、連勝中で波に乗る現在のレイソルでも苦戦は免れない。前節はベガルタ仙台と引き分け(△1-1)、首位に返り咲くチャンスを逃したとはいえ、MF中村憲剛、FW大久保嘉人、FW小林悠を擁するフロンターレ攻撃陣はJ1最多の20ゴールを叩き出し、依然として対戦相手に脅威を

与えている。

「次も僕たちのやることは変わらない。自分たちがボールを握るところと、切り替えを早くしてカウンターに出て行くところの使い分けができれば結果はついてくる」(茨田陽生)。レイソルに求められるのは、これまでの連勝中と変わりなく、全選手がハードワークを怠らず、それぞれが与えられた仕事を全うすることだ。

勝てば勝点で並ぶ上位直接対決。この重要な一戦を制し、日立台で再び凱歌を上げる。

**HITACHI**  
Inspire the Next

サッと使ってパッと置ける、  
強力パワーのコードレス。

**パワーブーストサイクロン**  
日立 コードレス スティッククリーナー  
PV-BD700

◎日立アプライアンス株式会社

待っているのは、  
最高の週末だ。

TV・スマート  
PC・タブレットで  
柏レイソル  
リーグ戦  
全試合生中継!

スカパー! レイソル

スカパー!



2016 明治安田生命J1リーグ 1stステージ 第11節

## 柏レイソル VS 川崎フロンターレ

KASHIWA  
Reysol

[監督] 下平 隆宏

1	GK	桐畠 和繁
2	DF	鎌田 次郎
4	DF	中谷 進之介
5	DF	増嶋 竜也
6	DF	山中 亮輔
7	MF	大谷 秀和
8	MF	茨田 陽生
9	FW	田中 順也
10	FW	大津 祐樹
11	FW	ディエゴ オリヴェイラ
14	FW	伊東 純也
15	MF	武富 孝介
16	GK	稻田 康志
17	MF	秋野 央樹
18	FW	エデルソン
19	MF	中川 寛斗
20	MF	ジュリアーノ ミネイロ
21	DF	湯澤 聖人
22	DF	輪湖 直樹
23	GK	中村 航輔
25	MF	小林 祐介
26	MF	太田 徹郎
27	DF	今井 智基
28	MF	栗澤 僚一
29	DF	中山 雄太
30	MF	手塚 康平
31	FW	大島 康樹
32	GK	滝本 晴彦
33	MF	安西 海斗
34	FW	ドウドウ

※出場停止:なし

Staff

ヘッドコーチ/布部 陽功

コーチ/エジネウソン

GKコーチ/松本 拓也

フィジカルコーチ/松原 直哉

フィジカルコーディネーター/ベルマール

2016.05.08 SUN 日立柏サッカー場 13:00 KICK OFF

マッチコミッショナー:杉澤 直樹 EST.1997

アセッサー:菊地 秀夫

主審:佐藤 隆治 / 副審:聰城 巧、権田 智久 / 第4の審判:塙越 由貴

## 予想スターティングメンバー



## プレイバック@川崎戦

2015年7月19日(日) / 日立台  
2015 J1 2nd 第3節 柏 [1-0] 川崎

攻撃的なフロンターレの圧力に押し込まれる時間の長い序盤になったが、その時間帯を切り抜けると、「流れがこちらに来るまで我慢した中で生まれたゴール」と吉田監督が振り返る通り、15分には中央の崩しから工藤が先制点をゲット。クラブのJ1通算ゴール記録を塗り替える53ゴールを挙げた。その後もボール回しでは一日の長があるフロンターレに主導権を握られ、守勢に回る展開になった。そこでは鈴木、エドワルドを中心に守備陣が粘り強い対応を見せ、相手の攻撃を跳ね返していく。終盤にはカウンターから大きなピンチを迎えたが、桐畠の思い切りの良いプレーがこれをストップ。前半の1点を守り切り、前節に続く完封勝利を飾った。



## KASHIWA REYSOL 2016 Game Schedule

## ◆明治安田生命J1リーグ 1stステージ

節	日付	時間	場所	対戦相手	結果
1	2月27日(土)	15:00	日立柏	浦和レッズ	●1-2
2	3月5日(土)	16:00	NACK 大宮アディージャ	●0-2	
3	3月12日(土)	18:30	日立柏	ジュビロ磐田	△ 2-2
4	3月19日(土)	14:00	デンカS	アルビレックス新潟	△ 2-2
5	4月2日(土)	15:00	ベアスター	サガン鳥栖	△ 1-1
6	4月10日(日)	19:00	日立柏	FC東京	○ 1-0
7	4月15日(金)*1	19:00	吹田S	ガンバ大阪	○ 1-0
8	4月24日(日)	16:00	カシマ	鹿島アントラーズ	○ 0-2
9	4月30日(土)	15:00	日立柏	ヴィッセル神戸	○ 0-2
10	5月4日(水・祝)	19:00	中銀スタ	ヴァンフォーレ甲府	○ 0-2
11	5月8日(日)	13:00	日立柏	川崎フロンターレ	
12	5月13日(金)*1	19:30	Eスタ	サンフレッチェ広島	
13	5月21日(土)	15:00	日立柏	アビス福岡	
14	5月29日(日)	13:00	日産	横浜F・マリノス	
15	6月11日(土)	—	日立柏	ベガルタ仙台	
16	6月18日(土)	—	パロ瑞穂	名古屋グランパス	
17	6月25日(土)	—	日立柏	湘南ベルマーレ	

## ◆Jリーグヤマザキナビスコカップ グループステージ

節	日付	時間	場所	対戦相手	結果
1	3月23日(水)	19:00	レベスタ	アビス福岡	△ 2-2
2	3月27日(日)	15:00	日立柏	ベガルタ仙台	● 0-1
3	4月6日(水)	19:30	ニッパ球	横浜F・マリノス	○ 3-1
4	4月20日(水)	19:00	日立柏	川崎フロンターレ	○ 2-1
5	5月18日(水)	19:00	日立柏	アルビレックス新潟	
7	6月5日(日)	14:00	ベアスター	サガン鳥栖	

## ◆明治安田生命J1リーグ 2ndステージ

節	日付	時間	場所	対戦相手	結果
1	7月2日(土)	—	日立柏	アルビレックス新潟	
2	7月9日(土)	—	埼玉	浦和レッズ	
3	7月13日(水)	—	日立柏	サンフレッチェ広島	
4	7月17日(日)	—	味スタ	FC東京	
5	7月23日(土)	—	日立柏	ガンバ大阪	
6	7月30日(土)	—	ヤマハ	ジュビロ磐田	
7	8月6日(土)	—	日立柏	横浜F・マリノス	
8	8月13日(土)	—	ユアースタ	ベガルタ仙台	
9	8月20日(土)	—	日立柏	名古屋グランパス	
10	8月27日(土)	—	等々力	川崎フロンターレ	
11	9月10日(土)	—	日立柏	鹿島アントラーズ	
12	9月17日(土)	—	神戸ユ	ヴィッセル神戸	
13	9月25日(日)	—	日立柏	ヴァンフォーレ甲府	
14	10月1日(土)	—	BMWス	湘南ベルマーレ	
15	10月22日(土)	—	日立柏	サガン鳥栖	
16	10月29日(土)	—	日立柏	大宮アルディージャ	
17	11月3日(木・祝)	—	レベスタ	アビス福岡	

## ◆Jリーグヤマザキナビスコカップ ノックアウトステージ

◎準決勝第1戦:8月31日(水) ◎準決勝第2戦:9月4日(日) ◎準決勝第1戦:10月5日(水) ◎準決勝第2戦:10月9日(日) ◎決勝:10月15日(土)

## ◆チャンピオンシップ

◎1回戦:11月6日(日) ◎準決勝:11月23日(水・祝)\*2 ◎決勝第1戦:11月29日(火) \*3 ◎決勝第2戦:12月3日(土)

※1: ACLによる ※2: (ACL決勝進出時) 予備日11月22日(火) ※3: (ACL決勝進出時) 予備日11月30日(水)

## J.League Division 1 / 1st Stage 順位表

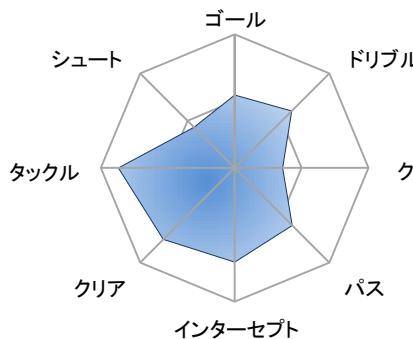
順位	チーム	勝点	試合	勝	引	分	敗	得失点差
1	浦和	22	9	7	1	1	11	
2	川崎	21	10	6	3	1	9	
3	鹿島	20	10	6	2	2	8	
4	柏	18	10	5	3	2	5	
5	大宮	18	10	5	3	2	1	
6	磐田	15	10	4	3	3	-4	
7	広島	14	9	4	2	3	4	
8	神戸	14	9	4	2	3	3	
9	横浜FM	14	10	4	2	4	2	
10	名古屋	13	9	4	1	4	-1	
11	大阪	12	9	4	0	5	0	
12	甲府	10	10	2	4	4	-4	
13	FC東京	10	9	3	1	5	-4	
14	鳥栖	8	9	2	2	5	-2	
15	新潟	8	10	2	2	6	-6	
16	湘南	8	10	2	2	6	-8	
17	仙台	8	10	2	2	6	-9	
18	福岡	6	9	1	3	5	-5	

2016年5月4日(第10節)現在

## 柏レイソル VS 川崎フロンターレ

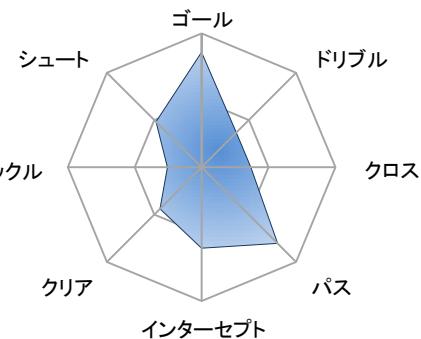
5月6日時点でのデータ

### レーダーチャート



チームスタッツ	
1.4 (6)	ゴール
15.7 (4)	ドリブル
13.4 (14)	クロス
542.2 (6)	パス
3.5 (3)	インターセプト
30.7 (3)	クリア
27.8 (1)	タックル
9.4 (11)	シュート

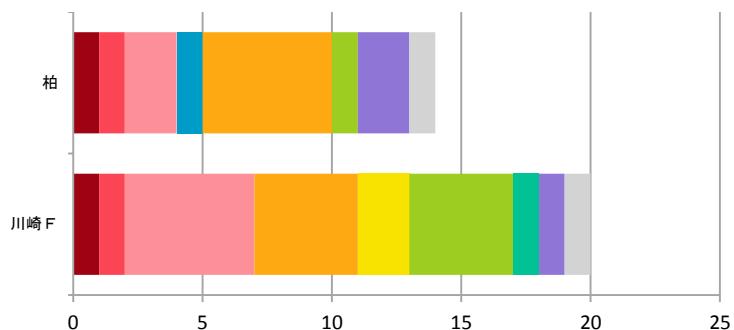
※試合平均値。()内はリーグ順位



### 柏のパターン別得点

PKから	1
セットプレー直接から	1
セットプレーから	2
ドリブルから	1
クロスから	5
スルーパスから	0
30m未満のパスから	1
30m以上のパスから	0
こぼれ球から	2
その他	1

### 得点パターン



### 川崎Fのパターン別得点

PKから	1
セットプレー直接から	1
セットプレーから	5
ドリブルから	0
クロスから	4
スルーパスから	2
30m未満のパスから	4
30m以上のパスから	1
こぼれ球から	1
その他	1

### ランキング

ゴール	
ディエゴ	オリヴェイラ
武富	孝介
田中	順也
伊東	純也
大谷	秀和
他4名	

#### セットプレー(出し手→相手ペナルティエリアでの受け手)

山中 亮輔	→	増嶋 竜也	2
田中 順也	→	増嶋 竜也	2
山中 亮輔	→	田中 順也	2
エデルソン	→	中谷 進之介	2
山中 亮輔	→	中谷 進之介	1
他11ペア			

アシスト	
輪湖 直樹	2
伊東 純也	2
大津 祐樹	1
茨田 陽生	1
田中 順也	1

ゴール	
大久保 嘉人	6
小林 悠	4
中村 憲剛	3
エウシーニョ	3
森本 貴幸	1
他3名	

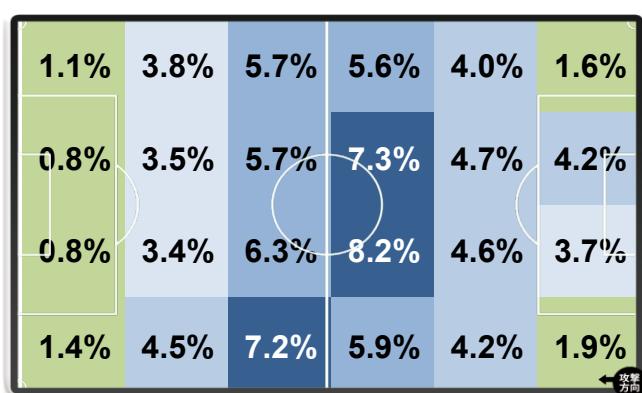
アシスト	
中村 憲剛	4
小林 悠	4
森本 貴幸	2
エウシーニョ	2
大久保 嘉人	1
他4名	

セットプレー(出し手→相手ペナルティエリアでの受け手)		
エウシーニョ	→	小林 悠
エウシーニョ	→	中村 憲剛
大久保 嘉人	→	エウシーニョ
エウシーニョ	→	森本 貴幸
車屋 紳太郎	→	狩野 健太
他4ペア		

### ホットゾーン



※セットプレー除く



→攻撃方向



# Akimi BARADA 8MF 茨田陽生

——チームは連勝中ですが、茨田選手は自分自身のここまでパフォーマンスをどう評価していますか？

「正直、物足りなさはあります。チームが勝っている中で自分の改善点を見つけることは良い流れなので、勝ちながら個々の質を高めていきたいです。まだまだパスミスもありますし、そういうところを突き詰めてミスなくプレーできるようにしなければいけないと思っています」

——しかし守備面では献身的なプレーも目立ちます。その部分で意識が変わったということはありますか？

「みんながタイミング良く、ジャストでアプローチに行っているので、相手も苦し紛れのパスが多くなっていますし、コンビを組む（小林）祐介がガツガツ奪いに行ってくれる分、僕のところにこぼれてくるというのはあります。自分の守備力が上がったというよりは、チーム全体で連動した守備ができている結果ですね。だからこそ自分のところでやられてはいけないという意識が出てきますし、若い選手が多く試合に出ているので、自分がもっとやらなければいけないと意識はしています」

——茨田選手は同じ年代の選手と比べると、優勝経験、試合出場数、ACLなどの国際試合の経験も多い方だと思います。その様々な経験が、若い選手と組むことで発揮できるようになった印象を受けます。

「そうですね。試合前のデータを見ると、通算試合数は3桁に達していますし、そう考えるとその経験を意識しながらやっていかなければいけないと感じています」

——今節は川崎フロンターレとの対戦です。2位と4位との直接対決で、勝てば勝点でフロンターレに並ぶ大事な一戦になります。

「フロンターレはうまいし、ボールを持ってて攻撃力があり、アイデアも豊富。そこに関してはリスクペクトしています。ただ、必要以上に構えることはありません。先日のナビスコカップでも、うちは最後に点を取って勝ち切りました。相手が回してくる中でも焦れることなく、我慢して守備をした結果があの決勝点につながったので、次のフロンターレ戦でも僕たちのやることは変わりません。自分たちがボールを握るところと、切り替えを早くカウンターに出て行くところの使い分けができれば結果はついてくると思います」

——フロンターレの特長を考えると、ボールを持たれる時間が長くなる可能性があります。ただ、最近の試合では相手にボールを持たれた展開になってしまって崩れずに対応できている点は大きな強みです。

「守備の仕方がはっきりしましたね。今は相手に持たれた時の準備ができているので、その守備を継続しながら、フロンターレ戦では奪った後の攻撃の質を今まで以上に高めていく。フロンターレにボールを持たれる時間が長いと、自分たちがカウンターに出て行く回数も減ってしまいます。だからこそ1つ1つのカウンターの質をもっと高めていき、自分たちがボールを持つ時間をできるだけ長くする。そうしないと焦れて失点ということになりかねませんから。やっぱり攻撃したいですし、ボールを持ちたい。チームとしてもその技術は持っていますし、僕たちはもっともっとできると思います。守備では全員がそれ

ぞの役割をこなしていますから、今度はそういう個々の役割を攻撃につなげていきたいです」

——フロンターレは中村憲剛選手と大島僚太選手がパスの起点になります。そのパスの出どころを封じ、レイソルの中盤が相手を上回れるかの勝負になりそうですね。

「祐介が相手に対してガツガツと奪いに行ってくれるので、僕と一緒に組む場合はその動きに連動して、球際やこぼれ球の競り合いでは負けずにボールを捨う。相手の起点が1枚の時は祐介が奪い切ってくれますけど、フロンターレは憲剛さん、大島君とパスを出せる選手が2人いるので、祐介に任せただけでなく自分も奪いに行く。そしてそのあのパスの質にこだわっていけば、良い形で攻撃に出て行けるイメージは持っています。それに、自分のポジションならば落ち着かせることもできるので、試合の状況を読んでその2つを使い分けていきたいと思います」

——2011年のJ1優勝経験を持つ茨田選手から見て、この先も上位争いを繰り広げていくためには何が必要になってきますか？

「まずはこの連勝を続けること。あとは1つ負けた時に、その負けを引きずらないことが大事ですね。2011年は負けた後には必ず課題を修正して一度も連敗をしませんでした。今はあのシーズンに似ていて、チーム内で良い競争ができます。今は連勝しているから当然勢いはありますけど、何かあった時の立て直しがうまくいけば、間違いなく上位という見えてくると思います」



## 戦術の幅を広げるオールラウンダー

中 山雄太の評価が急上昇している。厳密に言えば、3月のヤマザキナビスコカップ・グループステージ第1節のアビスパ福岡戦でウェリントン、第2節のベガルタ仙台戦でウイルソンとマッチアップし、及第点以上のプレーを見せたことで、メディアからは「あの29番は何者?」との声が出始めていた。

その後、ヤマザキナビスコカップの横浜F・マリノス戦を除く公式戦全試合に出場した。とりわけ、リーグ戦の第7節ガンバ大阪戦以降はスタメン出場を果たし、好パフォーマンスで連勝に大きく貢献。快進撃を支える“ヤングレイソル”的1人に名を連ねる中山は弱冠19歳で、リオ五輪世代ではなく4年後の東京五輪世代の選手である。

登録上はCBになっているが、ユーティリティ性が高く、フィールドならばあらゆるポジションをこなせるオールラウンダーだ。ユーティリティー・プレーヤー、ポリバレン特、あるいはオールラウンダーというと、どことなく“器用貧乏”というネガティブな印象を与える。しかし中山の場合はどのポジションでも一定のレベルのプレーを発揮できるためネガティブとは全く無縁。これから先、彼はサッカー人生の中で数多くの指揮官の下でプレーをしていく。きっとそのどの監督からも存

在を重宝されることになるだろう。

U-18時代にはCBやアンカーの他、攻撃センスを買われてトップ下も務めていた。プロ1年目の昨季、デビューを飾ったACLのビン・ズオン戦はCB、JリーグデビューとなったG大阪戦は左SB、そしてACL準々決勝の広州恒大戦ではトップ下にスタメン抜擢された。プロ1年目にしてこうした起用をされるところに、中山のオールラウンダーとしての能力の高さが垣間見られるだろう。

技術面・フィジカル面も確かだが、なにより驚かされるのは戦術眼だ。下平隆宏監督が採用する攻撃時の3-4-3、守備時の4-4-2という可変システムに関しては、鹿島アントラーズ戦後の会見にて、「中山のユーティリティ性は、変則的な戦術を取っている部分ではすごく大きな役割になっている」と、下平監督も評価していた。

チーム全体に戦術の落とし込みがされているため、可変システムの実行に限ればボランチをCBの間に落として移行することは可能である。問題はその組み合わせだ。可変システムの狙いの1つは、高い位置を取る両ワードの攻撃力のフル活用だが、例えば伊東純也を右SBに置き、ボランチを落とせば攻撃では伊東が高い位置を取れるが、アントラーズ

のカイオ、ヴィッセル神戸の渡邊千真、ヴァンフォーレ甲府のクリスティアーノとマッチアップさせたなら、守備に追われて伊東の攻撃力を生かせない事態も発生していただろう。実際に下平監督は、アントラーズ戦後に「カイオの単独突破に伊東を当てるのはしんどいと思った」と述べている。

下平監督は鎌田次郎を相手の攻撃のキーマンに、ぶつけ、伊東を一列上げるのだが、その際の可変システムを実行するポイントとして、中山を抜擢した。彼は左SBと左WB、もしくは4バックのCBと3バックのCBを兼任し、与えられたタスクを難なくこなした。相手FWとのマッチアップのように目に見えた働きだけでなく、彼の存在が鎌田のエース封じと、伊東のアッカーライ用による攻撃力アップを生み出したのならば、この公式戦7連勝とリーグ戦5連続完封勝利の最大の立役者は中山と言っても差し支えはない。

攻守において存在感を發揮するこの若者に、近い将来、「完全封鎖」の象徴である“背番号3”をつけてほしいと願っているのは、私だけではないはずだ。

Profile／鈴木潤 Jun SUZUKI  
レイソルを中心に国内ユース年代から海外サッカーなどを取り材。日々の取材を発信するHP「柏フットボールジャーナル」も運営。

5/21(土) vs福岡戦 チケット発売中!  
5/18(水) ヤマザキナビスコカップvs新潟戦 チケット発売中!

チケットのご購入  
はお近くのローソン・ミニストップ店  
内ロッピで!



# We Support KASHIWA REYSOL 2016

柏レイソルパートナー KASHIWA REYSOL Partner

柏レイソルでは「地域」と「応援」をキーワードに、クラブの活動理念にご賛同いただいた法人企業様を対象とするクラブスポンサー制度「柏レイソルパートナー」を設け、多くの企業様にご協賛いただいております。皆様の温かいご支援のもと、地域と一緒にしたクラブを目指してまいります。

アスリート	モン・シェフ	柏駅前通り商店街振興組合	Grace act	相鉄フレッセサイエン 千葉柏	トキタ工務店	ヤノハウスコート
イノメディアカルシステムズ	助川工務店	柏エフォートフットボールクラブ	グリーンテック	(医)宙麦会ひだクリニック	南洲興業	レイアップゴルフスタジオ
グーロクリエイト	なつの製作所	柏 王道家	子供水着のサンディア	Dining Bar SHANTY	ニッカウヰスキー柏工場	ユニホームサービス
JAちば東葛	柏市まちづくり公社	柏工商会議所	コナンテック	ダスキンベリエール	パレスシステム千葉	横尾一徳税理士事務所
常南通運	アクターズ(細田觀光)	柏二番街商店会	ザ・柏タワースクエア駐車場	ダムフットボールクラブ	ヒガキオートサービス	リヨーセイ
常陽商事	ヴィスボ柏99フトボールクラブ	柏マイティーフットボールクラブ	桜田建設	テガサイエンス	日立アルスケアマニュファクチャリング	ワタベ塗工
田中動物病院	海老澤自動車工場	柏ラッセルフットボールクラブ	サンアドバンス	てらだデンタルクリニック	穂高賃貸センター	
野田小型運送	FCアディティ柏	柏レイソルU.A.流山	芝園開発(cycle24h)	トイブードル専門ブリーダー	ボックスウッド	
日立産機システム	大塚工務店	カナリーニョフットボールクラブ	新柏倉庫	ブードルライフ	ミツワ堂	
文化工房	オランダ家 新柏店	北柏交通	スパークル企画	東葛トヨエース	みんなの歯科クリニック	
明治安田生命保険(相)柏支社	風早レクトFC	木村ガラス	SEPT	東邦タクシー	明月苑	
東京海上日動火災保険	柏魚市場	京葉ガス	創作料理 銀の趣	TOR	八木歯科医院	